清真寺の地元有力者と駱駝業
——蒙疆政権下の回民社会の事例から——

澤井 充生

I はじめに

本稿は、蒙疆政権下の清真寺（モスク）と回民社会をとりまく状況をもとに文献資料にもとづいて再構成し、地元有力者の社会経済的基盤を支えた駱駝業の特徴を検討する試論である。拙稿〔2014〕では、植民地人類学の問題関心にもとづき、日本軍占領期の回教工作と清真寺との関連性を明らかにしたが、清真寺に所属する回民の社会経済的状況について十分には記述することができなかった。そこで、本稿では、清真寺を管理運営する立場にあった地元有力者（管理責任者）および彼らの主要な職業（駱駝業）に注目し、当時の様子を立体的に描写することにした。

蒙疆政権下の駱駝業といえば、日本軍主導の回教工作（例えば、西北工作）と密接な関係にあったことがよく知られており、日本軍の機密文書でもしばしば取り上げられたことがある1）。その主な理由は、駱駝が蒙疆と西北地方（新疆省を含む）を結びつける交通手段として、駱駝業者が現地の情勢・動向に詳しい事情通として注目されたからである。例えば、具体的な政策として、日本軍占領下の厚和市（現ウフラ市）や包頭市では、日本軍特務機関が回民の同業者組合（例えば、駱駝業や牛羊肉業の組合）を組織し〔余建明・袁紹衛 2006：101〕、現地に暮らす少数民族の経済活動をも統制し、地元有力者を積極的に利用しようと試みており。厚和市の場合、清真寺の地元有力者として有名な駱駝業者の曹家が日本軍特務機関と付き合いがあり、そのことについては拙稿〔2013；2014〕で言及したとおりである。

本稿では、厚和市靖城（北門外）に駱駝業者が集住していたことをふまえ、清真寺の分布、回民社会の規模、駱駝業者の居住地・輸送経路・業務内容・慣習などを既存の文献資料および口述資料をもとにして整理し、日本軍占領期の回民社会をできるかぎり具体的に記述したい。こうした試みによって、日本軍が回教工作の対象とみなした人々の社会経済的背景をより深く知ることができるだろう。また、それとは別に、日本軍占領期の回民社会の再構成は、1949年以前の少数民族社会の実態を明らかにするという点で、中国共産党政権下の少数民族社会の変容を多角的に理解するための一助となりうる。なお、本稿の執筆にあたって参照した主な先行研究は、日本軍占領期に蒙疆や北平（現北京）などで現地調査を実施した日本人の調査・研究成果であり、本稿の研究対象時期は、原則、日本軍占領期であるが、必要に応じて中国国民党統治期の旧綏遠省帰绥市（日本軍占領期に「厚
和市」と改称）の状況についても言及したことを最初に断わっておく。

Ⅱ 清真寺の分布と回民社会の形成

1 厚和市の人口分布

まず、日本軍占領下にあった蒙古聯合自治政府の行政区画を整理しておきたい。蒙疆政権の地方行政では、2 政庁および 5 盟公署に分類され、長官および盟長が配置され、それぞれが市・県・旗の行政を指揮監督していた。2 政庁とは「察南」および「晋北」を指し、前者が 1 市 10 県、後者が 13 県から構成されていた。5 盟とはシリンゴル盟、チャハル盟、バインタラ盟、ウラーンチャブ盟、イフジョー盟を指し、2 市 22 県 37 盟から構成されていた。2 政庁の管轄地域には華北、山東、山西の出身者の漢民（漢人）が多く、5 盟にはモンゴル人が多かった。回民は蒙疆全域に分散していたが、厚和市や包頭市のように回民の集住する地域は 5 盟の管轄下にあった。

厚和市はバインタラ盟内の主要都市の 1 つであった。蒙疆の中西部に位置するバインタラ盟は、行政区画上、厚和市、包頭市、薩拉齐県、托克托県、清水河県、和林県、涼城県、豊鎮県、興和県、集寧県、陶林県、武川県、固陽県、安北県から構成されていた。同盟の総人口はおよそ 160 万人、漢民が 90％、モンゴル人が 10％弱であった。厚和市の人口は 264,525 名（53,535 世帯）で、同盟のなかでは最大の人口を有していた。なお、在留邦人は 300 名ほどであった（蒙疆新聞社 1941：262）。

次に、蒙疆全域における民族別人口、厚和市の回民人口、清真寺の分布状況などに関する基礎情報を整理し、蒙疆政権下における回民社会の占める位置を確認しておきたい。ここでは 1941 年 7 月の『蒙疆年鑑』に掲載された統計資料を表 1 に整理していただいた。

表 1 蒙疆における民族別人口

<table>
<thead>
<tr>
<th>民族区分</th>
<th>世帯数</th>
<th>人口</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>日本内地人</td>
<td>14,474</td>
<td>36,420</td>
</tr>
<tr>
<td>半島人</td>
<td>1,433</td>
<td>4,123</td>
</tr>
<tr>
<td>漢</td>
<td>956,557</td>
<td>4,864,958</td>
</tr>
<tr>
<td>蒙古</td>
<td>6,354</td>
<td>29,879</td>
</tr>
<tr>
<td>回人</td>
<td>8,293</td>
<td>37,155</td>
</tr>
<tr>
<td>漢</td>
<td>1,797</td>
<td>5,853</td>
</tr>
<tr>
<td>外国人</td>
<td>226</td>
<td>463</td>
</tr>
<tr>
<td>無国籍</td>
<td>4</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>1,063,352</td>
<td>5,114,487</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：『蒙疆年鑑』（1941 年）の統計資料をもとに作成した。
蒙疆政権下の回民人口については、1941年の『蒙疆年鑑』では8,293世帯（37,115名）、1943年に回民調査を実施した岩村の調査報告書では7,487世帯（35,834名）、蒙古自治邦政府回教 WARRANTIESの『内蒙回教調査概要』では7,820世帯（37,608名）となっている【岩村1949: 33-34；蒙疆新聞社 1941；蒙古自治邦政府回教 WARRANTIES 1942】。いずれの統計資料が正確な情報なのかは判断しづらいが、概算としては、蒙疆全域における回民の世帯数はおよそ7,400世帯から8,200世帯で、人口は35,000名から37,000名ほどであったと考えられるよう。

厚和市の回民人口に関しても統計資料で正確に確認することができないが、『内蒙回教調査概要』には、厚和市の回民の世帯数が1,690世帯、人口が8,691名と記載されている【蒙古自治邦政府回教 WARRANTIES 1942】。中華人民共和国成立後の統計資料によれば、1950年7月時点では、綏遠省帰隷市市の回族の世帯数が2,520世帯（12,305名）、回民区では回民の世帯数が1,637世帯（7,744名）と報告されている【綏遠省人民政府 2007（1950）: 279】。1955年頃の時点では、フホト市回民自治区（現回民区）の人口が18,124名（4,292世帯）、このうち回族の人口は8,309名とされている【内蒙古日報編輯部工作組 2007（1955）: 9】。これらの統計資料から、日本軍占領期、厚和市には10,000名前後の回民が暮らしていたと本稿では暫定的に考えてみたい。なお、表2の人口統計は、1953年頃の回民区の統計資料であるが、「街巷」（道路・路地）ごとの民族別人口を整理したもので、非常に貴重な情報なので掲載しておいた。

ところで、回民の出生地に関しては、岩村が西北回教聯合会の出生地別統計（1943年）を整理している。それによると、蒙疆政権下の回民（被調査者35,802名）の出生地は、バインタラ盟（12,680名）、宣化県（12,159名）、華北（3,173名）、チャハル盟（3,122名）、大同県（2,694名）、イフジョー盟（1,581名）、寧夏省（318名）、甘粛（63名）、華中（2名）である。蒙疆出身者が約90％で、蒙疆以外の地域で生まれた者は極めて少ない【岩村1949: 50-51】。厚和市の場合、清真北寺の付近に西北の寧夏や甘粛から移住した回民がいるが、現在でも少数派であり、蒙疆で生まれ育った者が圧倒的に多い。

一方、「祖籍」（原籍）については、岩村が清真寺ごとの簡単な調査結果を提示している。それによれば、厚和市の場合、大寺では華北が50％、陝西が30％、残りが甘粛、山西、張家口であった。東寺では大多数が華北、特に河川の滄県、保定が多く、寧夏が多少いた。西寺では多様で、陝西、陝北、大同、東北寺では陝西、華北、北平、大同、寧夏という内訳だった。南寺では山西右玉、北平、大同、宣化、陝西であり、新城寺では河川、山西右玉が大部分を占めていた。北寺では西北出身者、特に陝西人が多く（30％）、他は北平、山東であった。車站寺では河川沙河が多かった。次いで通県、長営村、南口、昌平などで多かった【岩村1949: 49】。現在、フホト市に暮らす回族の原籍にも河北省、山西省などが多く、彼らは「路路回回」、西北出身者は「西路回回」と呼ばれ、原籍の違いが同じ回族のなかでも強く意識されることがある。
2 厚和市の清真寺と回民社会

はじめて、日本軍占領以前の清真寺の歴史的経緯を整理しておきたい。清真寺を中心とした「坊上」（fangshang）と呼ばれるコミュニティの形成は、歴史上、回民の民族形成とは切り離せない関係にあり、「城」や「県」などではいくつもの「坊上」が集合体となって、回民社会をゆるやかに形成していた。「帰化城」では、回民の人々は遅くとも17世紀後半から中華民国期にかけていくつもの清真寺を中心として「坊上」を形成していた。

まず、1693年（康熙32年）、清真大寺が「旧城」の北門外に建設され、その周辺に回民が集住した。その後、山西の大同や右玉などから数多くの回民が「帰化城」へ移住し、牛・羊・駱駝などを兎買する「牛橋」、「羊場子」、「駱駝街」を形成した。康熙年間末期から雍正年間初頭にかけて、旧城東門外の「馬蓮灘」には回民が集住し、嘉慶年間に清真小学堂が建設され、1894年（光緒20年）頃に清真東寺として完工された。「綏遠城」の建設後、1884年（光緒10年）、新城南門の「羊圈巷」で畜業を営む回民が新城清真寺を建設した。1891年（光緒17年）には清真大寺の東北に清真東北寺が建設され、清真小学堂として大寺の管轄下にあった。1899年（光緒25年）、同治年間に旧城西門外に建設された「南学」（傳家寺）が清真南寺として完工された。乾隆年間中期には、山西、河北、河南、山東、北京などから回民が「帰化城」に移住し、乾隆年間後期に「後沙灘」に清真西寺を建設している。

19世紀後半、西北で回民蜂起が発生した後、陝西・寧夏・甘粛などから「帰化城」へ移住した回民も少なくない。例えば、清真北寺は清朝期の咸豊年間に建設された清真小学堂を前進し、1921年に西北の寧夏・甘粛出身の回民によって改築された。車站寺は1922年に綏遠都統の回民軍関馬福祥の出資で建設され、河北・山東出身の回民移民によって管理された。このように、乾隆年間後期以降、数多くの回民が清真寺の周辺に民家（平屋）を建設し、いくつものコミュニティを形成していた。このほか、1789年（乾隆54年）、新疆の香妃を北京で護送したテュルク系ムスリム数百名が「帰化城」の南方にある「八拜村」に定住し、清真寺を建設したという伝承・記録もあり、「帰化城」の回民の民族的出自が実際は一様ではないことが推察される。

清朝期から中華民国期にかけて、「帰化城」では清真東寺、清真西寺、清真東北寺、清真南寺は1949年頃までは清真大寺の管轄下にあった。つまり、清真大寺が他の小さな清真寺を統括する役割を担っていた。日本軍占領期の厚和市における清真寺の名称、創立時期、信徒数、住所などの基本状況を表3に整理しておいた。
附：归绥市団区内人口统计表

<table>
<thead>
<tr>
<th>街巷名</th>
<th>通道街</th>
<th>西合巷</th>
<th>学校街</th>
<th>交通街</th>
<th>水塔街</th>
<th>钟楼旁街</th>
<th>北大街</th>
<th>新民街</th>
<th>中山南街</th>
<th>中山西路</th>
<th>中山东路</th>
<th>额济纳街</th>
<th>三克热儿巷</th>
<th>窄巷</th>
<th>后河巷</th>
<th>水塔街</th>
<th>大营坊道</th>
<th>营坊道</th>
<th>营坊道</th>
<th>水库巷</th>
<th>水库街</th>
<th>义马观街</th>
<th>义和巷</th>
<th>义和巷</th>
<th>明音坊道</th>
<th>总计</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>户数</td>
<td>25</td>
<td>17</td>
<td>38</td>
<td>186</td>
<td>3</td>
<td>16</td>
<td>12</td>
<td>97</td>
<td>66</td>
<td>41</td>
<td>70</td>
<td>82</td>
<td>75</td>
<td>76</td>
<td>74</td>
<td>25</td>
<td>44</td>
<td>33</td>
<td>32</td>
<td>60</td>
<td>50</td>
<td>45</td>
<td>39</td>
<td>73</td>
<td>84</td>
<td>66</td>
</tr>
<tr>
<td>国民人数</td>
<td>男</td>
<td>57</td>
<td>51</td>
<td>84</td>
<td>466</td>
<td>10</td>
<td>74</td>
<td>44</td>
<td>239</td>
<td>181</td>
<td>102</td>
<td>162</td>
<td>185</td>
<td>168</td>
<td>188</td>
<td>182</td>
<td>64</td>
<td>119</td>
<td>82</td>
<td>78</td>
<td>160</td>
<td>113</td>
<td>104</td>
<td>88</td>
<td>133</td>
<td>189</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>女</td>
<td>59</td>
<td>39</td>
<td>85</td>
<td>446</td>
<td>8</td>
<td>28</td>
<td>22</td>
<td>213</td>
<td>152</td>
<td>86</td>
<td>145</td>
<td>168</td>
<td>150</td>
<td>162</td>
<td>138</td>
<td>55</td>
<td>111</td>
<td>79</td>
<td>66</td>
<td>144</td>
<td>113</td>
<td>86</td>
<td>82</td>
<td>165</td>
<td>182</td>
</tr>
<tr>
<td>计</td>
<td>116</td>
<td>90</td>
<td>169</td>
<td>912</td>
<td>18</td>
<td>102</td>
<td>66</td>
<td>452</td>
<td>333</td>
<td>188</td>
<td>307</td>
<td>353</td>
<td>318</td>
<td>350</td>
<td>320</td>
<td>119</td>
<td>230</td>
<td>161</td>
<td>144</td>
<td>304</td>
<td>226</td>
<td>190</td>
<td>176</td>
<td>348</td>
<td>371</td>
<td>287</td>
</tr>
<tr>
<td>户数</td>
<td>19</td>
<td>23</td>
<td>9</td>
<td>102</td>
<td>37</td>
<td>41</td>
<td>33</td>
<td>43</td>
<td>33</td>
<td>36</td>
<td>49</td>
<td>51</td>
<td>43</td>
<td>6</td>
<td>17</td>
<td>146</td>
<td>35</td>
<td>51</td>
<td>36</td>
<td>19</td>
<td>15</td>
<td>20</td>
<td>28</td>
<td>18</td>
<td>20</td>
<td>24</td>
</tr>
<tr>
<td>国民人数</td>
<td>男</td>
<td>52</td>
<td>43</td>
<td>18</td>
<td>241</td>
<td>114</td>
<td>117</td>
<td>86</td>
<td>100</td>
<td>90</td>
<td>86</td>
<td>121</td>
<td>117</td>
<td>105</td>
<td>8</td>
<td>37</td>
<td>330</td>
<td>80</td>
<td>97</td>
<td>16</td>
<td>43</td>
<td>37</td>
<td>49</td>
<td>84</td>
<td>24</td>
<td>41</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>女</td>
<td>45</td>
<td>48</td>
<td>20</td>
<td>194</td>
<td>95</td>
<td>51</td>
<td>28</td>
<td>78</td>
<td>56</td>
<td>64</td>
<td>101</td>
<td>108</td>
<td>94</td>
<td>12</td>
<td>32</td>
<td>252</td>
<td>64</td>
<td>85</td>
<td>32</td>
<td>36</td>
<td>29</td>
<td>38</td>
<td>53</td>
<td>10</td>
<td>35</td>
</tr>
<tr>
<td>计</td>
<td>97</td>
<td>91</td>
<td>38</td>
<td>453</td>
<td>209</td>
<td>168</td>
<td>114</td>
<td>178</td>
<td>146</td>
<td>150</td>
<td>222</td>
<td>225</td>
<td>199</td>
<td>20</td>
<td>69</td>
<td>582</td>
<td>144</td>
<td>182</td>
<td>48</td>
<td>79</td>
<td>66</td>
<td>87</td>
<td>137</td>
<td>34</td>
<td>76</td>
<td>84</td>
</tr>
<tr>
<td>合计</td>
<td>213</td>
<td>181</td>
<td>207</td>
<td>1347</td>
<td>227</td>
<td>270</td>
<td>180</td>
<td>630</td>
<td>479</td>
<td>338</td>
<td>529</td>
<td>578</td>
<td>517</td>
<td>370</td>
<td>389</td>
<td>701</td>
<td>374</td>
<td>343</td>
<td>192</td>
<td>383</td>
<td>292</td>
<td>277</td>
<td>307</td>
<td>382</td>
<td>447</td>
<td>373</td>
</tr>
<tr>
<td>国民百分比</td>
<td>55%</td>
<td>58%</td>
<td>60%</td>
<td>68%</td>
<td>7.9%</td>
<td>37.7%</td>
<td>36.7%</td>
<td>71.7%</td>
<td>69.5%</td>
<td>55.6%</td>
<td>58%</td>
<td>61%</td>
<td>61.5%</td>
<td>94.6%</td>
<td>83.3%</td>
<td>77.1%</td>
<td>61.5%</td>
<td>46.9%</td>
<td>75%</td>
<td>79.4%</td>
<td>77.4%</td>
<td>68.6%</td>
<td>68.3%</td>
<td>91.1%</td>
<td>83%</td>
<td>73.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>备注</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
表 3 厚和市における清真寺の基本状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>清真寺名</th>
<th>創立時期</th>
<th>信徒数</th>
<th>住所</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>大寺</td>
<td>清康熙 32 年 1693 年</td>
<td>453 世帯 2,338 名（男 1,244 名 女 1,094 名）</td>
<td>礼拝寺巷</td>
</tr>
<tr>
<td>西寺</td>
<td>清道光 20 年 1840 年</td>
<td>210 世帯 1,010 名（男 541 名 女 469 名）</td>
<td>後沙灘周家巷</td>
</tr>
<tr>
<td>新城寺</td>
<td>清光緒 10 年 1884 年</td>
<td>35 世帯 186 名（男 97 名 女 89 名）</td>
<td>乾泰泉南街</td>
</tr>
<tr>
<td>東北寺</td>
<td>清光緒 17 年 1891 年</td>
<td>205 世帯 1,064 名（男 554 名 女 510 名）</td>
<td>前新城道</td>
</tr>
<tr>
<td>東寺</td>
<td>清光緒 20 年 1894 年</td>
<td>333 世帯 1,813 名（男 948 名 女 865 名）</td>
<td>馬蓮灘東寺巷</td>
</tr>
<tr>
<td>南寺</td>
<td>清光緒 25 年 1899 年</td>
<td>36 世帯 196 名（男 101 名 女 95 名）</td>
<td>西河沿街</td>
</tr>
<tr>
<td>北寺</td>
<td>民国 10 年 1921 年</td>
<td>173 世帯 1,064 名（男 456 名 女 381 名）</td>
<td>通道街十間房</td>
</tr>
<tr>
<td>車站寺</td>
<td>民国 11 年 1922 年</td>
<td>23 世帯 125 名（男 60 名 女 65 名）</td>
<td>和平路</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>1,468 世帯 7,796 名（男 4,001 名 女 3,568 名）</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：『邦内回教調査概要』（1942 年）の図表をもとに作成した。

地図 1 は、甘総回教礼拝堂（現清真北寺）の周囲に居住する回民の分布（1945 年末頃）を示したものである。不鮮明な一次資料ではあるが、貴重な地図なので掲載しておきたい。
地図 1 甘綾回教礼拝堂（現清真寺）と回民の居住分布

出典：『十間房的変遷——回民街』（2000年）
表4 は、日本軍占領期の厚和市にあった清真寺の管理責任者一覧表である。岩村の調査成果にもとづいて表を作成し、必要に応じて関係者の情報を補足しておいた。

<table>
<thead>
<tr>
<th>清真寺名</th>
<th>管理責任者・年齢</th>
<th>職業</th>
<th>原籍</th>
<th>補足</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>大寺</td>
<td>曹 湧 (60)</td>
<td>駱業</td>
<td>河北滄県</td>
<td>地元有力者（追加分）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊 福 (55)</td>
<td>駱業</td>
<td>華北</td>
<td>曹英（47）駱業、河北滄県</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬永祥 (52)</td>
<td>駱業</td>
<td>山西省右玉</td>
<td>1950年の時点（帰継市政府資料）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬正文 (60)</td>
<td>駱業</td>
<td>北京</td>
<td>教長：楊万福</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>曹世祺 (35)</td>
<td>駱業</td>
<td>河北滄県</td>
<td>アホン 14名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>穆承龍 (48)</td>
<td>駱業</td>
<td>華北</td>
<td>学生9名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>趙興旺 (58)</td>
<td>駱業</td>
<td>華北</td>
<td>郷老12名：曹万福、白忠義</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>白 福 (58)</td>
<td>牙紀</td>
<td>北平</td>
<td>一般信徒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>丁 亮 (42)</td>
<td>小販</td>
<td>華北</td>
<td>男670名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>韓興德 (45)</td>
<td>皮販業</td>
<td>華北</td>
<td>女480名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬有財 (58)</td>
<td>駱業</td>
<td>陝西</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬有恆 (59)</td>
<td>駱業</td>
<td>河北滄県</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<p>| 東寺    | 高連祥 (60)     | 駱業 | 婦綏 | 1950年の時点 |
|         | 白玉 (58)       | 駱業 | 婦綏 | 教長：劉富儒（河北滄県） |
|         | 尹富 (56)       | 雑貨商 | 婦綏 | アホン5名 |
|         | 馬文玉 (44)     | 医師  | 婦綏 | 学生6名 |
|         | 劉玉（？）       | 皮毛商 | 婦綏 | 郷老10名：馬騏、白義 |
|         | 王有和（？）     | 駱業  | 婦綏 | 一般信徒 |
|         | 王有聲（？）    | 駱業  | 婦綏 | 男871名 |
|         | 張福（？）       | 肉業  | 婦綏 | 女701名 |
|         | 王聰（？）       | 皮毛商 | 婦綏 | |
|         | 丁順（？）       | 肉業  | 婦綏 | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th>清真寺名</th>
<th>管理責任者・年齢</th>
<th>職業</th>
<th>原籍</th>
<th>補足</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>東北寺</td>
<td>孫光年（47）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td>1950 年の時点</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊生茂（46）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td>教長：李華芳（河北青県）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>曹世祥（27）</td>
<td>驢商</td>
<td>墨綬</td>
<td>アホン 6 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>張福（28）</td>
<td>驢商</td>
<td>墨綬</td>
<td>学生 9 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>马英（38）</td>
<td>驢商</td>
<td>河北滄県</td>
<td>鄉老 8 名：楊竹軒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>郭亮（77）</td>
<td>驢商</td>
<td>山西大同</td>
<td>一般信徒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>鴻恩（56）</td>
<td>皮毛商</td>
<td>墨綬</td>
<td>男 909 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自占鰲（40）</td>
<td>牛乳商</td>
<td>墨綬</td>
<td>女 676 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>麻動（35）</td>
<td>教師</td>
<td>山西右玉</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>戴瑞（44）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>南寺</td>
<td>楊萬（32）</td>
<td>肉業</td>
<td>北平</td>
<td>地元有力者（追加分）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>马孝（41）</td>
<td>肉業</td>
<td>河北通県</td>
<td>楊向春（62）肉業、北平</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>傳世魁（36）</td>
<td>飲食業</td>
<td>山西右玉</td>
<td>楊逢春（60）飯館業、北平</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>丁鈺（27）</td>
<td>飲食業</td>
<td>北平</td>
<td>馬五元（58）皮毛業、山西右玉</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊貴（25）</td>
<td>肉業</td>
<td>北平</td>
<td>古玉（54）皮毛業、山西右玉</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>楊泰（44）經理、陝西</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1950 年の時点</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>教長：王金琳（寧夏靈武）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>アホン？名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>学生 1 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>鄉老 4 名：白全德、朱躍</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>一般信徒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>男 71 名、女 74 名</td>
</tr>
<tr>
<td>西寺</td>
<td>遼廷秀（32）</td>
<td>驢業</td>
<td>河北滄県</td>
<td>1950 年の時点</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馮有恩（40）</td>
<td>皮毛業</td>
<td>墨綬</td>
<td>教長：馬成（墨綬）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>王萬義（50）</td>
<td>驢業</td>
<td>北平</td>
<td>アホン 5 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊崇德（62）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td>学生？名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>白成福（45）</td>
<td>牙紀</td>
<td>墨綬</td>
<td>鄉老 12 名：遼廷璽</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>劉二□（52）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td>一般信徒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>王有恆（55）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td>男 497 名、女 470 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>陳福（48）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>張文乘（48）</td>
<td>驢業</td>
<td>墨綬</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>張四（50）</td>
<td>飲食業</td>
<td>墨綬</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>王福（32）</td>
<td>飲食業</td>
<td>墨綬</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>清真寺名</td>
<td>管理責任者・年齢</td>
<td>職業</td>
<td>原籍</td>
<td>補足</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>----------------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>新城寺</td>
<td>王有禎 (34)</td>
<td>飲食業</td>
<td>北京</td>
<td>1950 年の時点</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>張興旺 (42)</td>
<td>肉業</td>
<td>河北滄県</td>
<td>教長：時鴻賓（河北滄県）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>劉金旺 (48)</td>
<td>農業</td>
<td>河北滄県</td>
<td>アホン 1 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬相信 (46)</td>
<td>駱業</td>
<td>山西右玉</td>
<td>学生 1 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>劉君 (63)</td>
<td>食料品</td>
<td>華北</td>
<td>郷老 5 名：劉英</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>一般信徒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>男 115 名、女 111 名</td>
</tr>
<tr>
<td>北寺</td>
<td>周学仁 (32)</td>
<td>皮毛業</td>
<td>寧夏呉忠県</td>
<td>地元有力者（追加分）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>濱潔如 (40)</td>
<td>皮毛業</td>
<td>青海</td>
<td>敏泉（40）駱業、青海</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>傅兆榮 (30)</td>
<td>皮毛業</td>
<td>寧夏呉忠県</td>
<td>白鑑堂（56）点心製造業、大同</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>唐寶山 (50)</td>
<td>皮毛業</td>
<td>帰綏</td>
<td>1950 年の時点</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>安殿瑞 (50)</td>
<td>糧業</td>
<td>帰綏</td>
<td>教長：馬生縫（寧夏）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>王寬 (28)</td>
<td>駱駱宿</td>
<td>帰綏</td>
<td>アホン 26 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬寬 (30)</td>
<td>飲食業</td>
<td>帰綏</td>
<td>学生 10 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬子榮 (40)</td>
<td>飲食業</td>
<td>大同</td>
<td>郷老 12 名：王寬、白子美、馬亮</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬銘 (30)</td>
<td>無職</td>
<td>帰綏</td>
<td>一般信徒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬亮 (35)</td>
<td>駱業</td>
<td>帰綏</td>
<td>男 506 名、女 473 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>劉玉凱 (48)</td>
<td>皮毛業</td>
<td>帰綏</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>車站寺</td>
<td>金德亮 (50)</td>
<td>飲食業</td>
<td>河北沙河</td>
<td>1950 年の時点</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>金玉 (28)</td>
<td>飲食業</td>
<td>河北沙河</td>
<td>教長：石栄昌（山東濟南）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬德山 (76)</td>
<td>無職</td>
<td>河北通県</td>
<td>アホン 1 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>学生 1 名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>郷老 10 名：金德亮</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>一般信徒</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>男 131 名、女 120 名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：『中国回教徒社会の構造』（1949 年・1950 年）の表をもとに作成した。
補足：1950 年時点の統計資料は帰綏市政府の資料（『呼和浩特回族史料 第 4 集』に掲載されている）。
III 回民の駱駝業

さて、ここから厚和市（旧帰化州）における回民の駱駝業を紹介する。本稿の冒頭で言及したように、日本軍は蒙疆の回民を支配するにあたって回民の駱駝業に注目し、駱駝業が回教工作（特に西北工作）を円滑に進めうえで重要であると考えていた。以下、厚和市における回民の駱駝業の歴史的経緯と日本軍占領期の状況を整理してみたい。

1 帰化城と回民の職業

旧帰化州の起源は、モンゴル・トゥメドのアルタナ・ハーンが1566年に万里の長城の北側に建設した「大坂界城」であり、明朝期以降、モンゴルと漢人との交易で栄えた都市である。モンゴル語では「フフホト」、漢語では「帰化城」（1577年）と長らく呼ばれてきた。清華は雍正年間には中国北方における家畜・皮毛の集散地として発展していた。乾隆年間には、華北や華中などの「内地」からの出稼ぎ民の移住、すなわち「走西口」の終着点として、数多くの漢民（漢人）や回民が「帰化城」に移り住んだ。回民の主な出身地は、山西省の大同、右衛（右玉）、山東省の德州、濟南、北京、天津、河北省の滄州、保定、石家莊、河南省の孟県などであった。また、乾隆帝がジャンガル帝国を討伐した後、中国の「内地」と西北（特に新疆）との交易が本格的にはじまると、「帰化城」は新疆と「内地」とを結びつける中継地として繁栄した。ジャンガル討伐にともなう新疆の誕生を契機として、「帰化城」では新疆交易を中心とした駱駝業（特に輸送業）が始まった [馬遼英 2011: 123-124]。

明朝・清朝期、「帰化城」はモンゴルや新疆との交易を通じて、牛・羊・馬の家畜、鬱皮・羊毛の集散地として繁栄した。中華民国期、「帰化城」には、「経商」、「負販」、「牙紀」、「駱戸」、「屠宰」などの職業に従事する回民が多く、特に「帰化城」が家畜・皮毛の集散地であったことから、家畜販売業、皮革業、輸送業、畜産業、飲食業などが回民の代表的な職業であった。例えば、皮毛業では、礼拜寺巷路に「協盛西」、牛橋街に「永徳店」、「玉成祥」、「広盛和」などの個人経営店があった。飲食業としては、「南北古豊軒」、「徳豊軒」、「聚豊軒」、「新発春」、「餡餅粥」、「天興園」、「徳和楼」、「東来順」などの料理店、茶館では「玉興元」、「慶三元」、「興和元」、「上三元」、「慶春元」、点心の販売店では「興隆元」、「隆興元」、「隆盛元」、「仲三元」、「徳盛元」などが知られていた。畜産業では、最盛期には108代世帯もの業者が回民の集住地区にあり、「一百單八家」と呼ばれていた。

清朝期の道光・咸豊年間には駱駝隊商による輸送業が本格化したことにより、回民は「通事行」（通訳業）や「養駱」（駱駝飼育業）などでも活躍した。駱駝業の発展により、河北・河南・山東・山西・天津・北京などへ向かう家畜販売業者を相手にした旅店業も栄えた。清朝期から中華民国期にかけて、山西商人（漢民）が経営する「大盛魁」が駱駝輸送業でその名を馳せた時期には、「帰化城」は「駱駝」と呼ばれるほど駱駝業で隆盛を誇った [馬遼英 2011: 125；政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史』編輯委員会]。
（編）1994：116-122]。
現在でもフホト市で回族の伝統的な職業といえば、「橋牙子」、「皮販子」、「大白焙子」、「肉案子」と説明されることからわかるように、家畜販売業、仲買業、毛皮業、飲食業、屠畜業が回族の代表的な職業として考えられている。また、それと関連して、「営坊道、馬上馬下；新城道、能揃能下；後沙礫、成顧成串；馬蓮灘、能栄能掛」という職があるので、この職には回民の職業的特徴が簡潔にまとめられている。つまり、「帰化城」の営坊道、新城道、後沙礫、馬蓮灘は回民の伝統的な集住地区であり、営坊道には家畜販売業・仲買業、新城道には駱駝業（牛乳）、後沙礫には駱駝業、馬蓮灘には屠畜業・牛羊肉販売業に従事する回民が多数居住していたことである。現在、それぞれの集住地区はフホト市回民区に集中しており、回民区は市内で回族の人口比率が最も高い行政区となっている。

日本軍占領期の状況に目を向けると、蒙疆の回民を調査した岩村忍の報告によれば、回民の主要な職業は、輸送業、仲買業、飲食業、旅館、肉業、皮革業などであった [岩村 1950：22-23]。歴史学者の今永清二によれば、清真寺を管理する地元有力者（「郷老」）の職業は、「農業、家畜業、鞍轡業、馬業、駱駝業、皮毛業、牙紀、飯館業、飲食業、大車業、点心業、煤業、肉業、屠戸、塩商、雑貨商、果実商、洋蔥商、石灰商、糖商、油塩商、小商販、牛乳商、材木商、書記、散班阿訇、教師、医師」などであった [今永 1966：80]。表4は岩村忍の調査結果を筆者が整理したものであるが、表4から清真寺の「郷老」の職業構成がわかる。当時「郷老」の職業に目を向けると、「郷老」全体のうち駱駝業従事者が最も多く（郷老66名のうち30名）、清真寺の有力者の多くが駱駝業によって経済力を備えていたと推察することができる。例えば、清真大寺の場合、「郷老」12名のうち9名が駱駝業従事者であった。詳細については後述するが、例えば、清朝末期から中華民国期にかけて総督庁の當家は蒙疆において最も影響力のある回民の駱駝業者であり、主に清朝末期から中華民国期にかけて清真大寺の最高管理責任者であった。

2 回民の駱駝業
それでは、ここからは回民の駱駝業について詳述する。ひとくちに駱駝業と言っても、その内訳は17種の業務とされており、駱行、駱駝戸、駱駝屠畜業、駱駝肉舗、駱駝皮商人、駱駝油業、駱毛業、駱駝骨肥料業、駱駝の血・筋・髄・掌・砕肉・頭皮・蹄皮を個別に販売する様々な職業が存在した [仁井田 1951：272-273；今永 1967：75]。このような業種の多様性は毛羊業などにもあてはまり、駱駝業であれ、牛羊業であれ、その仕事内容が細分化され、役割分担されていたことが窺える。ここでは、駱駝業の「駱行」（販売業者）、「駱店」（仲買業者）、「駱戸」（輸送業者）を中心として回民の駱駝業の特徴を整理してみたい。

2-1 「駱戸」—駱駝運送業者
清朝乾隆年間から中華民国期にかけて、「帰化城」が「駱城」と称されるほど駱駝業で繁
栄したことはすでに記述した。その頃は山西商人の漢民（漢人）を中心とした駱駝輸送業者「大盛魁」がロシア、内外モンゴル、新疆との交易で財をなしたが、外モンゴルの独立（1921）やソ連の成立（1922）などでそれまでの国境交易が困難になった結果、「大盛魁」は倒産に追い込まれた。「大盛魁」の倒産後、内外モンゴル、新疆、甘粛、青海、寧夏などの辺境地域との交易を担ったのが回民の駱駝業者であった [今永 1967 : 67-68；馬遠英 2011 : 125-126]。清朝期から中華民国期にかけての回民の駱駝業については1945年以前、北京出身の回民が日本人研究者（仁井田陞）に証言している。

「清朝成立の前後から、北京安定門外に蒙疆王公の公館ができ、王公が駱駝をつれてその故郷との間を往来し、北京から帰ることは駱駝に乗せて商品を運んでいた。その頃、北京で駱駝を扱う者には、回教徒と異教徒とがあって、各々仲間をつくり、安定門外で蒙疆王公と取引をしていた。その状態は道光年間（1821-50）頃まで続いたが、その後、駱駝業が衰微するにつれて異教徒の同業がなくなってきた、回教徒が同業を大体独占するに至った。宣武門外牛街には北京第一の大きな回教寺院があるが、その地帯に集まり住む回教徒がその駱駝業の中心である。もっとも異教徒が全然同業から消滅してしまったわけではない、北京郊外に、昔の外館との関係から引き続いて、多少異教徒同業が残っている。」 [仁井田 1951 : 271]

1923年、北京と包頭を結ぶ京包鉄道が開通した後も西北交易の重要な交通手段は駱駝であり、寧夏、甘粛、青海、新疆などに対する物資の運搬は駱駝業者が担当した。その頃、西北の甘粛、青海、寧夏の諸地域では回民軍閥が支配者となってから、西北交易では漢民より回民の方が有利な立場にあった [今堀 1955 : 199；今永 1967 : 72]。例えば、「帰化城」では、漢民の駱駝業者のあいだで「三国時有劉閻張趙馬黃、北頭起有曹楊孫遂馬王」と言い慣れていたよう、中華民国期、駱駝業で有名な回民には曹姓、楊姓、孫姓、孫姓、孫姓、馬姓、王姓の家族があり、それぞれの業者が時には協力しながら、時には競合しながら、競争をしていた。そのおかげで最も有名な業者が曹家の「徳厚堂」であり、最盛期には800峰以上の駱駝を保有していた [馬遠英 2011 : 125-126]。

それぞれ、ここからは駱駝輸送業の内容を説明したい。駱駝輸送業に関わる者には、主に「駱駝」、「駱夫」、「駱行」などがあり、 「駱駝」が駱駝輸送業者、「駱夫」が駱駝引き、「駱行」が駱駝販売業を担当した。「駱駝」は商品の輸送を担当し、50頭から600頭（「德厚堂」の場合、1,000頭以上の駱駝を所有）の駱駝を引き連れて1頭あたり360斤の荷物を運搬した。「駱駝」は商品販売業者（販売）と契約を交わし、その時に輸送料金の大半を受け取り、商品を届けてから残額を受け取った。「駱駝」は家族を中心とした個人経営で自ら資本によって輸送業に従事し、使用人には親族・友人・知人が多かった。従業制は確認されていない。「駱駝」のなかには商品販売業に転業したり、兼業したりする者もいた [今堀 1955 : 286-287]。
「駄夫」は駄駄引きを意味し、「駄戸」と契約を結んで雇用される労働者であった。「駄夫」1人で19頭の駄駄（1練）を引き連れ、10練（1房）が駄駄輸送の最小単位とされていった。駄駄輸送業者は大規模な業者は1つの隊商に数房、小規模な業者は1房を動員・編成した。毎年春・春期、「駄戸」、「駄夫」は「帰化城」を出発し、まず北上して武川に入り、西進し、西北各省へ向かった。蒙疆の百霊廟付近まで盗賊が多発したため、武装して移動した（中華民国期には保商団兵士に護衛してもらい、保商団の経費は「駄戸」が負担した）。西北交易の場合、最終地点の新疆省には夏に到着し、商品を届けてから「帰化城」へ帰るのは正月（旧正月）以降だった。つまり、蒙疆と新疆省との交易は1年がかりであった。なお、「駄夫」の給料・食料は「駄戸」が負担した［今堀 1955：287-288］。
駄駄輸送業者の輸送経路に関しては、先行研究で以下の経路が指摘されている。北京を出発点とした場合、蒙疆を経由して西北地方や外モンゴルへ向かう経路が一般的に利用されていた。

表5 駄駄業者の輸送経路（北京から西北・外モンゴルへ）

<table>
<thead>
<tr>
<th>経由地点</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>北京→張家口→多倫→経棚→古北口→門頭溝→涿州→甘肅→青海→寧夏</td>
</tr>
<tr>
<td>→凉州→新疆→庫倫→恰克圖→烏里蘇台→科布多</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：今永［1967］をもとに作成した。

表6 駄駄業者の輸送経路（地方都市から北京へ）

<table>
<thead>
<tr>
<th>経路</th>
<th>経由地点</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>A</td>
<td>古北口→密雲→懷来→台上村→狗王坂→朝陽門→北京</td>
</tr>
<tr>
<td>B</td>
<td>多倫→辺境→大梁底→大米関→後燈灘→忙生壘→石橋子→張家口→宣化</td>
</tr>
<tr>
<td>C</td>
<td>経棚→他拉嶺→乃莫城→後陶其→白老包→大米關→大梁底→後燈瓘→忙生壘</td>
</tr>
<tr>
<td>D</td>
<td>沽源→石頭城子→独石口→貓兒嶺→赤城→窓店→腰站→懷来→官溝→草廟</td>
</tr>
<tr>
<td>E</td>
<td>涿縣→瑞河→盧溝橋→広安門→北京</td>
</tr>
<tr>
<td>F</td>
<td>門頭溝→北辛安→広安門・埠城門→北京</td>
</tr>
<tr>
<td>G</td>
<td>来育→馬橋→永定門→北京</td>
</tr>
<tr>
<td>H</td>
<td>通県→朝陽門→北京</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：今永［1967］をもとに作成した。

輸送物資に関しては、帰紹と新疆との交易を例に挙げた場合、帰紹からは「内地」の礦
茶・綿鎬・洋布・煙草・磁器・砂糖・化粧品・雑貨などが、新疆からは新疆産の駱毛皮・砂金・宝石・鹿茸・葡萄・杏瓜・乾瓜・家畜などが輸送され、売買されていた。このような交易は、清朝によるジェンガル支配後に駱駝輸送業者によって行われ、新疆だけでなく、西北各省、内モンゴル、外モンゴル、「内地」をも経済的に結びつけた。

中華民国成立後の回民の駱駝業については、北京出身の回民（馮致臣）が次のように証言している。非常に有益な情報が提供されているので、以下、引用しておきたい。

「中華民国成立（1912 年）となり、蒙古王公との貿易はなくなり、それより少し前には、外蒙古との連絡も断絶して、この方面の貿易もなくなっていた。外蒙古王公の財産は取り上げられたのである。又、包頭方面に鉄道が通じたことは、当然、駱駝による運送業に甚大な影響を与えた。かれやこれやで北京の駱駝業は極く限られた範囲の仕事しか営むことができなくなった。ただ北京附近的鉄道で運べない貨物（石炭石灰など）を運搬し、駱駝の肉や毛や皮や骨を食料・衣料乃至肥料に供する等のために、現在にその商売の命脈がつながって来たのであって、往時の駱駝業の隆昌は再び興すべくもない。今（昭和 18 年 1943 年、以下同じ）、運送して往復する先は、北京附近の宛平、房山、良郷、定興、永清、懷柔、順義の各県である。前までは順義県などから満洲へも行ったが、今は行くのが面倒で行く者がいない。駱駝を買うためには包頭へも行くが、貨物を包頭へ運搬して行くことはない。北京に来る駱駝の産地は、多く蒙疆にその厚和である。厚和の駱駝業は一家で何百頭も駱駝を養い、新疆にも行き、外蒙へ半年も行っている者がいる。」【仁井田 1951 : 271-272】

馮致臣氏の証言によれば、当時、北京へ運搬される駱駝の主な産地が蒙疆であり、また、京包鉄道の開通後、厚和市の駱駝業者（主に回民）が西北交易を継続させていたことがはっきりと指摘されている。

2-2 「駱行」——駱駝販売業者

ところでは、駱駝輸送業に欠かせない駱駝そのものの販売においても北京や蒙疆では回民が主導権を掌握していたことが先行研究で指摘されている【仁井田 1951：271 ；今堀 1955：199 ；今永 1967：71-72】。清朝期から中華民国期にかけて駱駝販売業者は「駱行」と呼ばれていた。1949 年の中華人民共和国成立まで北京の駱駝の供給地は蒙疆であり、蒙疆の駱駝業者と北京の駱駝業者は密接な関係にあった。北京では、牛街などにくらす回民の「駱行」が蒙疆まで足を運び、駱駝の販売を行っていた。ここでは、北京と蒙疆を行き来した「駱行」の業務内容や輸送経路などの特徴を整理しておきたい。

北京では清朝期に安定門外にモンゴル王公館が設置されたことから、内外モンゴルとの駱駝の販売・輸送が長期にわたって行われていた。清朝期には、牛街には 500 世帯の駱駝業者が存在し、駱駝業者が 200 世帯、「駱行」が 50 世帯、「駱戸」が 30 世帯、「駱肉店」が
表 7 北京・蒙疆間の駱駝販売の過程

<table>
<thead>
<tr>
<th>地域</th>
<th>帰縄・包頭</th>
<th>帰縄・包頭</th>
<th>帰縄・包頭</th>
<th>北京</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>業者</td>
<td>「養駝」(飼育)</td>
<td>「駱駝店」(仲介)</td>
<td>「駱駝」(販売)</td>
<td>「駱駝」(輸送)</td>
</tr>
<tr>
<td>移動</td>
<td>駱駝 → 駱駝 → 駱駝 → 駱駝</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>補足</td>
<td>モンゴル人や回民</td>
<td>回民が多数派</td>
<td>回民が多数派</td>
<td>漢民が多数派</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：今永 [1967] をもとに作成した。

このような、北京・蒙疆間の駱駝販売業が回民を中心に営まれるようになったことで、
北京では、駱駝販売業を回民が牛耳るようになり、1940 年には「駱駝房業公会」という駱駝
の販売業や畜産業の同業者組合が天橋西経路に設置された。その設立後、仁井田隆が「駱駝
房業公会」を訪問し、会長（馮致臣氏）に対して聞き取り調査を実施している。仁井田
が馮致臣（回民）から聞き出した情報は北京牛街の駱駝業者に関する情報であるが、貴重
な情報なので引用しておく。

「北京牛街（老君亭）に 201 家の駱駝業がいる。以前は 201 家以上、多いときは
4、500 家もあった。201 家の商売は皆で 17 種あり、生きた駱駝の販売業はその
内 50 餘家、駱駝運送業は 30 餘家、駱駝の肉の販売業は 60 餘家である。」[仁井田
1951：272-273]
言を残している。

従来は駱駝についても牛羊などと同じく、各々の家に屠宰師即ち師付（刀師付）を呼んできて、所定の方式に従いこれを屠殺した。たとえば和尚を囲む、師付の手によらず各人勝手に殺したときは、その肉は食用に供得ないばかりか、何にも使えない均にならない。中華民国26年以降では、屠殺場が牛羊についてと同様に朝 günl門外に造られた。駱駝は検査の上、病気のないときは屠殺場に入れ、飼医が一枚一度検査して、病気のないとわかると、四肢を縛り、屠宰師はコーラン経を口読みして、これを一刀の下に殺す。決して二刀を使わない。二度も刀をつかった苦しみながら、食用その他に供することを得ない。前には喉の上を刺したが死なない虞があるので、今では喉の下を刺すことになっている。屠殺後、屠宰工人は駱駝を肉と皮と内臓とに分解し、夫々販売者の手に渡される。牛角の屠宰師は四家、羊の場合は多数あるが駱駝専門のはものは二家である。屠殺日は木曜である。[仁井田 1951：273]

駱駝屠畜業であれば、牛羊肉屠畜業であれ、回民の儀礼専門家が家畜をイスラーム式の方法で処理・解体することは現在でも遵守されている。屠畜を担当する専門家は「帯刀阿訇」（あるいは「下刀阿訇」）と呼ばれ、清真寺でイスラーム教育を受けた者である。厚和市の場合、清真寺の近くにあった馬舎に屠畜業者が集住しており、清真寺から派遣された「帯刀阿訇」が屠畜を請け負っていた。牛羊屠畜業に詳しい回族男性（60歳代）によれば、「帯刀阿訇」は日頃から家畜の命を奪っているので、罪が重く、決して尊敬される職業ではなかった。集団礼拝する場合、「帯刀阿訇」は最後列に並ぶのが一般的であった。死者祈念儀礼では「帯刀阿訇」をあえて招待しなかった」という（2014年10月フフホト市におけるインタビュー調査による）。儀礼専門家だけでなく、屠畜業を職業としてあえて選択しようとしない回族は現在もおり、その理由付けについては今後検討する必要があるが、こまでの記述から屠畜業が民族別に営まれていたことがはっきりと確認できる。

3 駱駝業者の同業者組合

清朝末期から中華民國期にかけて、「帰化城」（後の帰綏市）で回民の駱駝業、屠畜業、食肉業などが軌道に乗ると、独自の同業者組合が組織されるようになった。例えば、「帰化城」では、「帰綏倶楽会」、「清真社」、「帰綏回族牛羊肉公会」、「清真民団」などの結社（association）が回民の利益保護を目的として組織された。駱駝業に関連した結社としては「清真社」が回民を代表する同業者組合である。蒙疆で現地調査を調査した今堀誠二が厚和市における回民の駱駝業について一次資料を記録しているので、それを参照しながら当時の様子を再構成してみたい [今堀 1955：284-290]。

まず、1945年以前、厚和市には、駱駝業者の同業組合として「新疆社」と「清真社」が存在した。「新疆社」というのは、山西省出身の商人を中心とした漢民（現在の漢族にほぼ
相当する）の駱駝業者で構成されており、商品の輸出入を主な業務としていた。「新疆社」は主に西北地方へ赴き、「貨商」と呼ばれていた。構成員に山西省出身が多いことから「山西行」とも呼ばれていた。一方、「清真社」は河北省出身の回民商人を中心とした回民の駱駝業者によって構成され、商品輸送を請け負っていた（「連商」）。 「清真社」は河北省出身者が多いことから「華北行」とも呼ばれていた。このような同業者組合には同業者全員が参加し、「社長」1名を選出した。同業者組合の業務内容は、官商連絡、駱駝の徴発・納税、官憲と交渉、紛争調停などであった。

従民と回民は慣習が異なるため（特に回民はイスラームの食の規範を遵守するため）、たとえ同じ駱駝業者であっても、同業者組合は個別に組織・運営されていたのである。ただし、ここで注意すべきことがある。従民・回民の個別の駱駝業者には異民族の従業員が雇用されたことはよくあったらしく、同業者組合では接み分けが行われていても、個別の業者では異なる民族が特に違和感なく共同で業務に従事していたという。なお、どちらかといえば、回民経営の駱駝輸送業者に従民が積極的に雇用された事例が多かったらしい（2014年8月・10月フホト市におけるインタビュー調査による）。

それより少し遅るが、日本軍が蒙疆を支配する以前の1933年頃、帰绥市では駱駝業者の同業者組合として「帰绥市駱駝同業公会」が結成されていた。1933年という時期は、山西商人の「大盛魁」がすでに倒産していたことを考えると、主に回民の駱駝業者によって発足されたのではないかと考えられる。実際、常務委員のひとりに曹家の曹英の氏名が挙げられており、回民の駱駝業者が組合運営に大きな発言権を行使したことがうかがえる。

4 駱駝業者の居住分布

日本軍占領期の厚和市にぐらす回民の駱駝業者に関しては、厚和市に設立された西北事情研究所が現地調査を実施したことがあり、詳細な一次資料が公表されている。以下、表8・表9を参照し、回民の駱駝業者の居住地・人員・駱駝数などを確認しておこう。

表8 厚和市回民駱駝業者一覧表（1944年4月1日）

<table>
<thead>
<tr>
<th>地地区別</th>
<th>生活程度</th>
<th>人員</th>
<th>駱駝数</th>
<th>使用人</th>
<th>貿易地区</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>営坊道</td>
<td>上</td>
<td>3世帯</td>
<td>中 3名</td>
<td>中 202頭</td>
<td>中 14名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>中</td>
<td>57世帯</td>
<td>下 57名</td>
<td>下 299頭</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>下</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>武川 67</td>
</tr>
<tr>
<td>通り街</td>
<td>上</td>
<td>15世帯</td>
<td>中 15名</td>
<td>中 149頭</td>
<td>中 7名</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>中</td>
<td>48世帯</td>
<td>下 48名</td>
<td>下 156頭</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>下</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>蒙地 1</td>
</tr>
<tr>
<td>地区別</td>
<td>生活程度</td>
<td>人員</td>
<td>駝駝数</td>
<td>使用人</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>-----------</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 新城道 | 上       | 中 4 世帯 | 中 4 名 | 中 305 頭 | 下 武川 45  
          |          | 下 80 世帯 | 下 80 名 | 下 296 頭 | 西北 3     |
| 後新城道 | 上       | 中 | | | 中 西北 4  
          |          | 下 20 世帯 | 下 20 名 | 下 137 頭 | 下 武川 13   
          |          | | | | 西北 6     |
|          |          | | | | 蒙地 1     |
| 寛巷子  | 上       | 5 世帯 | 上 5 名 | 上 485 頭 | 上 33 名  
          |          | 下 2 世帯 | 下 2 名 | 下 11 頭 | 上 西北 5     |
| 水渠巷  | 上       | 1 世帯 | 中 1 名 | 中 32 頭 | 中 11 名  
          |          | 下 17 世帯 | 下 17 名 | 下 97 頭 | 中 西北 1     |
|          |          | | | | 下 武川 12   
          |          | | | | 西北 5     |
| 馬路    | 上       | 1 世帯 | | | | |  
          |          | | | | | | 下 武川 10   
          |          | | | | | | 西北 3     |
| 馬連灘  | 上       | 6 世帯 | 中 6 名 | 中 216 頭 | 中 14 名  
          |          | 下 26 世帯 | 下 26 名 | 下 124 頭 | 中 西北 5     |
|          |          | | | | | | 武川 1     |
|          |          | | | | | | 下 武川 19   |
|          |          | | | | | | 西北 7     |
| 東寺巷  | 上       | 2 世帯 | 上 2 名 | 上 273 頭 | 上 15 名  
          |          | 中 1 世帯 | 中 1 名 | 中 33 頭 | 上 西北 2     |
|          |          | 下 2 世帯 | 下 2 名 | 下 15 頭 | 中 西北 1     |
|          |          | | | | | | 下 西北 1, 武川 1 |
| 西徳勝街 | 上       | 1 世帯 | 上 1 名 | 上 90 頭 | 上 6 名  
<pre><code>      |          | | | | | | 西北 1     |
</code></pre>
<p>|          |          | | | | | | 下 武川 1     |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th>地区分</th>
<th>生活程度</th>
<th>人員</th>
<th>駱駝数</th>
<th>使用人</th>
<th>貿易地区</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>吕祖廟</td>
<td>上 5 世帯</td>
<td>中 5 名</td>
<td>中 49 頭</td>
<td>中</td>
<td>武川 14, 西北 1</td>
</tr>
<tr>
<td>南順城街</td>
<td>上 1 世帯</td>
<td>上 1 名</td>
<td>上 110 頭</td>
<td>上 7 名</td>
<td>上西北 1</td>
</tr>
<tr>
<td>井兒巷</td>
<td>上 1 世帯</td>
<td>中 1 名</td>
<td>中 31 頭</td>
<td>中 2 名</td>
<td>中西北 1</td>
</tr>
<tr>
<td>西順城街</td>
<td>上 1 世帯</td>
<td>中 1 世帯</td>
<td>中 53 頭</td>
<td>中 4 名</td>
<td>中西北 1</td>
</tr>
<tr>
<td>周家巷</td>
<td>上 3 世帯</td>
<td>中 3 名</td>
<td>中 72 頭</td>
<td>中 6 名</td>
<td>中西北 3</td>
</tr>
<tr>
<td>下 3 世帯</td>
<td>下 3 名</td>
<td>下 17 頭</td>
<td>下武川 3</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>民庁恒</td>
<td>上 1 世帯</td>
<td>中 1 名</td>
<td>中 21 頭</td>
<td>中 1 名</td>
<td>中西北 1</td>
</tr>
<tr>
<td>下 12 世帯</td>
<td>下 12 名</td>
<td>下 51 頭</td>
<td>下西北 1</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>下 5 世帯</td>
<td>下 174 頭</td>
<td>下 113 頭</td>
<td>武川 11</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>戌沙灘</td>
<td>上 2 世帯</td>
<td>上 2 名</td>
<td>上 257 頭</td>
<td>上 14 名</td>
<td>上西北 2</td>
</tr>
<tr>
<td>下 23 世帯</td>
<td>下 23 名</td>
<td>下 113 頭</td>
<td>上西北 2</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>下 2 世帯</td>
<td>下 2 名</td>
<td>下 4 頭</td>
<td>武川 5</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>西順城街</td>
<td>下 2 世帯</td>
<td>下 2 名</td>
<td>下 4 頭</td>
<td>下西北 1, 武川 1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>観音廟</td>
<td>下 1 世帯</td>
<td>下 2 名</td>
<td>下 5 頭</td>
<td>下武川 1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>上 11 世帯</td>
<td>上 11 名</td>
<td>上 1215 頭</td>
<td>上 75 名</td>
<td>上西北 1, 武川 1</td>
</tr>
<tr>
<td>下 47 世帯</td>
<td>下 47 名</td>
<td>下 1341 頭</td>
<td>中 71 名</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>下 310 世帯</td>
<td>下 102 名</td>
<td>下 1470 頭</td>
<td>中 71 名</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：『厚和市回民駱駝業者一覧表』（1944年）

ひきつづき、回民の駱駝業者の個別情報を地区ごとに整理した統計資料を表9として掲
表9　厚和市回民骆駝業者一覧表（1944年4月1日）

<table>
<thead>
<tr>
<th>地区</th>
<th>業者名</th>
<th>生活水準</th>
<th>駝駝数</th>
<th>雇工</th>
<th>住所</th>
<th>貿易地区</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>営坊道</td>
<td>尹万富</td>
<td>下戸</td>
<td>13</td>
<td></td>
<td>営坊道9</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊金会</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>穂正水</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td></td>
<td>営坊道45</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬亮子</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>営坊道13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>麻德明</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>営坊道1</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊万喜</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td></td>
<td>営坊道12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬龍</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>営坊道1</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬具亮</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道1</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>康九子</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td>営坊道4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>喬連忠</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道56</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>賈魁</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道29</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊万義</td>
<td>下戸</td>
<td>51</td>
<td></td>
<td>営坊道12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>唐瑞</td>
<td>下戸</td>
<td>13</td>
<td></td>
<td>営坊道7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬六子</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td></td>
<td>営坊道26</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬亮</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>営坊道8</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>邸五</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td>営坊道11</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>麻庫</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td>営坊道1</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>麻蒼</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td>営坊道12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬華</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>営坊道2</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>苗禿子</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td>営坊道24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>康德</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td>営坊道56</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>尹万歳</td>
<td>下戸</td>
<td>11</td>
<td></td>
<td>営坊道3</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬正紅</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道46</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>唐二</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道1</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>周二</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td>営坊道7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬永魁</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td>営坊道7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬年子</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道46</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>干亮子</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>営坊道46</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬四旺</td>
<td>下戸</td>
<td>9</td>
<td></td>
<td>営坊道7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>白福宝</td>
<td>下戸</td>
<td>11</td>
<td></td>
<td>営坊道3</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>雇工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>-----------</td>
</tr>
<tr>
<td>賈長栄</td>
<td>下戸</td>
<td>11</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 27</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>潤徳元</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 31</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>華三</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>劉万金</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬正喜</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>艾明</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 30</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張耀遷</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>曹徳宝</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 43</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬正祥</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>華三宝</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>寧公</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 26</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>吳英</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 3</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>白福宝</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 9</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>鮑六四</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>鮑二宝</td>
<td>下戸</td>
<td>9</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 2</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬老鬼</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>于德旺</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>孟才</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王柱子</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 11</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>黄富貴</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 23</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>鉄有福</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>劉占□</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 32</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>費致中</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬老□</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 2</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>楊根慶</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 10</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>金喜</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 41</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>老馬</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>白珍</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 30</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬貴</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 2</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>白如珍</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>对存</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 30</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>陳瑞</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>邵玉元</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>嘉坊道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>僱工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>----------</td>
</tr>
<tr>
<td>孫斎山</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>営坊道22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>銘子忠</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>営坊道35</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>満福</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>営坊道15</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>対占元</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>営坊道18</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>麻万祥</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>営坊道4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>于潤</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>営坊道1</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>穆成龍</td>
<td>中戸</td>
<td>87</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td>営坊道6</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>趙具旺</td>
<td>中戸</td>
<td>55</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>営坊道46</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>鮑福</td>
<td>中戸</td>
<td>60</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>営坊道1</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>通道街</td>
<td>馬尽仁</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td>通道街41</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬忠義</td>
<td>中戸</td>
<td>16</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>通道街31</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬全思</td>
<td>中戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬玉旺</td>
<td>中戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街20</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>紹英</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街39</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬忠玉</td>
<td>中戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街42</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>李六</td>
<td>中戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王栄</td>
<td>中戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王瑞</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬亮</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街16</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>蘇和</td>
<td>中戸</td>
<td>11</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街16</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>周旺</td>
<td>中戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街15</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>白玉魁</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街40</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬正蓮</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街15</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>楊紅旺</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街30</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>孫徳有</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街39</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>李三</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街17</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>費有福</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街30</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>周喜瑞</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街34</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>拜德</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街17</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>趙亮</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街15</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬敬孝</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬四</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>楊旺</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>稼貯</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>----------</td>
</tr>
<tr>
<td>劉具成</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街20</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>劉家</td>
<td>中戸</td>
<td>17</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街26</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>戴六十</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街28</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>東殿元</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街25</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>李玉虎</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街9</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬敏山</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街21</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>梅俊</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街38</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>梅根小</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬三旺</td>
<td>下戸</td>
<td>9</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>哈珍</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街49</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>丁英</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街34</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>安三有</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街46</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬德旺</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街16</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬全喜</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街11</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>楊万福</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街2</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>廈二宝</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街29</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>費宝山</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街1</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>子三全</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>安有林</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街46</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張秀山</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街46</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>丁全有</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街59</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>任福</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街3</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>安殿発</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街21</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬万喜</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街20</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>楊口森</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街45</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>馬玉山</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街45</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬老虎</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街45</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>賈明</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街31</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬正山</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街31</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王福魁</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬具亮</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街33</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬三元</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街19</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>華如子</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街15</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>畜工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>---------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>---------</td>
</tr>
<tr>
<td>季富</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張金海</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街 3</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>安喜</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街 6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>李生春</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>通道街 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬正威</td>
<td>中戸</td>
<td>25</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>通道街 6</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>馬瑞</td>
<td>中戸</td>
<td>50</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>通道街 18</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>新城道</td>
<td>白玉祥</td>
<td>下戸</td>
<td>9</td>
<td></td>
<td>新城道 20</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>夏銀慶</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 16</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>馬二</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>郵六</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 66</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬四</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>趙萬富</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 67</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>郭有才</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 9</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>海子栄</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 20</td>
<td>蒙古</td>
</tr>
<tr>
<td>孫有仁</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 13</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>郭玉毛</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 29</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>郭三旺</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 63</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬忠</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 68</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬□□</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 10</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>韓成功</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>韓三明</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王有恩</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王寛</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬忠和</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 65</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>景殿祥</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 20</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>対大蔵</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 32</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>孫有義</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>曹金如</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>楊慶</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 10</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬来子</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>丁長保</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 10</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬紅子</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 10</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>苗三</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>雇工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>---------</td>
</tr>
<tr>
<td>張慶</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 45</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>郵大紅</td>
<td>中戸</td>
<td>42</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 63</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>孫福</td>
<td>中戸</td>
<td>99</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 15</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>孫坤</td>
<td>中戸</td>
<td>144</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 14</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>孫富</td>
<td>中戸</td>
<td>20</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬登富</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 22</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>韓瑞</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 31</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>邸永財</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 67</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>郴禎</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 67</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>王富汗</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 30</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>楊生錦</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 61</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>劉亮子</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 59</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>尹三高</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 20</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張明</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 64</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>白珍</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 23</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王士富</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 29</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>馬宝</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 60</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>甄邇俊</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 31</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>甄邇皋</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 31</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬有</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 29</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>陳貴祥</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 67</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>夏墨林</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>夏三宝</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 8</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>夏四宝</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 9</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>郭玉毛</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 29</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>安恩子</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 29</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>屈殿魁</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 59</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>唐喜</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>郭万庫</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 25</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>白志英</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 25</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>費汝紳</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 67</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張毛禿</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 64</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬秀峰</td>
<td>下戸</td>
<td>13</td>
<td></td>
<td></td>
<td>新城道 20</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>僱工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>-----------</td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>吉強</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td>新城道 50</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>賀宜</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td>新城道 61</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>11</td>
<td>新城道 62</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td>新城道 63</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td>新城道 64</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td>新城道 65</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td>新城道 66</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td>新城道 67</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td>新城道 68</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td>新城道 69</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>12</td>
<td>新城道 70</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>14</td>
<td>新城道 71</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>16</td>
<td>新城道 72</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>18</td>
<td>新城道 73</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>20</td>
<td>新城道 74</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>22</td>
<td>新城道 75</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>24</td>
<td>新城道 76</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>26</td>
<td>新城道 77</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>28</td>
<td>新城道 78</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>30</td>
<td>新城道 79</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>32</td>
<td>新城道 80</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>34</td>
<td>新城道 81</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>36</td>
<td>新城道 82</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>38</td>
<td>新城道 83</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>40</td>
<td>新城道 84</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>42</td>
<td>新城道 85</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>44</td>
<td>新城道 86</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>46</td>
<td>新城道 87</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>48</td>
<td>新城道 88</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>50</td>
<td>新城道 89</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>52</td>
<td>新城道 90</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>54</td>
<td>新城道 91</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>56</td>
<td>新城道 92</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>58</td>
<td>新城道 93</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>60</td>
<td>新城道 94</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>未利</td>
<td>未利</td>
<td>下戸</td>
<td>62</td>
<td>新城道 95</td>
<td>武川</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>驢驼数</td>
<td>雇工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>-----------</td>
<td>-------</td>
<td>------</td>
<td>-----</td>
<td>--------</td>
<td>---------</td>
</tr>
<tr>
<td>馬祥</td>
<td>下戸</td>
<td>14</td>
<td></td>
<td></td>
<td>馬路 13</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>馬禎</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>馬路 14</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬福</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>馬路 14</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>喬連祥</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>馬路 14</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>費如意</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>馬路 20</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>後新城道尹万福</td>
<td>下戸</td>
<td>24</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>馬全</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>尹良</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>苗文玉</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>対栄</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬宝</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>吳二</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>尹真旺</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>張殿恩</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>蒙古国</td>
</tr>
<tr>
<td>梅金宝</td>
<td>下戸</td>
<td>24</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>郭玉根</td>
<td>下戸</td>
<td>11</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬有根</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>郭万金</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>丁喜元</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道 38</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>丁元子</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道 38</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬盛汗</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道 54</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>苗中元</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道 53</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張德龍</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道 50</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>楊文元</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道 7</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>馬正華</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後新城道 1</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>寛巷子敏泉</td>
<td>上戸</td>
<td>89</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td>寛巷子 1</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>曹世光</td>
<td>上戸</td>
<td>71</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>寛巷子 14</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>德厚堂</td>
<td>上戸</td>
<td>187</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td>寛巷子 14</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>崇徳堂</td>
<td>上戸</td>
<td>210</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td>寛巷子 14</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>崇厚堂</td>
<td>上戸</td>
<td>72</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>寛巷子 14</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>曹福亮</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>寛巷子 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>曹亮</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>寛巷子 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>水渠巷白福</td>
<td>中戸</td>
<td>32</td>
<td></td>
<td></td>
<td>水渠巷 4</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>畜工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>-----------</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬子光</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>水溝巣 7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬俊</td>
<td>下戸</td>
<td>11</td>
<td></td>
<td>水溝巣 2</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>丁安</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>水溝巣 6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>尹亮</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>水溝巣 13</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>韓魁</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td>水溝巣 9</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>呉順</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>水溝巣 7</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>韓玉</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>水溝巣 9</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>於有典</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td>水溝巣 8</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>尹宏</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>水溝巣 26</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>尹老貴</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>水溝巣 26</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>曹万金</td>
<td>下戸</td>
<td>13</td>
<td></td>
<td>水溝巣 5</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>周生智</td>
<td>下戸</td>
<td>16</td>
<td></td>
<td>水溝巣 3</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊芳永</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>水溝巣 19</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>米珍</td>
<td>下戸</td>
<td>22</td>
<td></td>
<td>水溝巣 14</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬福典</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>水溝巣 12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>王正明</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>水溝巣 8</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>曹万福</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>水溝巣 14</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬蓮灘</td>
<td>中戸</td>
<td>27</td>
<td>2</td>
<td>馬蓮灘 48</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>丁順</td>
<td>中戸</td>
<td>29</td>
<td>2</td>
<td>馬蓮灘 64</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>王有□</td>
<td>中戸</td>
<td>29</td>
<td>2</td>
<td>馬蓮灘 64</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬寛</td>
<td>中戸</td>
<td>40</td>
<td>3</td>
<td>馬蓮灘 19</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>郎玉山</td>
<td>中戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 6</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊銘</td>
<td>下戸</td>
<td>15</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 61</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>郎玉茂</td>
<td>下戸</td>
<td>52</td>
<td>3</td>
<td>馬蓮灘 19</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>凍宝</td>
<td>中戸</td>
<td>39</td>
<td>2</td>
<td>馬蓮灘 15</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>海徳勝</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 50</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>海富</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 6</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>戴永勝</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 51</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>費世華</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 17</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>楊寛</td>
<td>下戸</td>
<td>12</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 23</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>馬喜</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 20</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>白潤魁</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 36</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>白義</td>
<td>下戸</td>
<td>12</td>
<td></td>
<td>馬蓮灘 36</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>雇工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>-----------</td>
</tr>
<tr>
<td>邵四福</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 38</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>馬紅亮</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 17</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>白潤</td>
<td>下戸</td>
<td>14</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 36</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>楊俊</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 15</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>張全</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 17</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>任長栄</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 55</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>麻吉</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 42</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>楊三</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 50</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>邵玉金</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 19</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>麻俊</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 42</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>喬三</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 9</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>馬興盛</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 38</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>喬万子</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 9</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>馬有恩</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 38</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>喬吉</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 8</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>楊紅</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td>駱駝</td>
<td>马蓮灘 12</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>東寺巷</td>
<td>王有恒</td>
<td>上戸</td>
<td>153</td>
<td>9</td>
<td>東寺巷 22</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>杨吉</td>
<td>中戸</td>
<td>33</td>
<td>3</td>
<td>東寺巷 11</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>杨万元</td>
<td>上戸</td>
<td>120</td>
<td>6</td>
<td>東寺巷 10</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>马貴</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td>駱駝</td>
<td>東寺巷 5</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>完元宝</td>
<td>下戸</td>
<td>7</td>
<td>駱駝</td>
<td>東寺巷</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>呂祖廟街</td>
<td>戴永旺</td>
<td>中戸</td>
<td>34</td>
<td>2</td>
<td>呂祖廟街 1</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>戴永紅</td>
<td>中戸</td>
<td>3</td>
<td>駱駝</td>
<td>呂祖廟街 1</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>白玉</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td>駱駝</td>
<td>呂祖廟街 29</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>海福雲</td>
<td>中戸</td>
<td>8</td>
<td>駱駝</td>
<td>呂祖廟街 7</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>邵三娃</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td>駱駝</td>
<td>呂祖廟街 1</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>周家巷</td>
<td>梁維成</td>
<td>中戸</td>
<td>24</td>
<td>2</td>
<td>周家巷 3</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>梁維高</td>
<td>中戸</td>
<td>24</td>
<td>2</td>
<td>周家巷 3</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>梁維勋</td>
<td>中戸</td>
<td>24</td>
<td>2</td>
<td>周家巷 3</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>马成</td>
<td>下戸</td>
<td>13</td>
<td>駱駝</td>
<td>周家巷 5</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>马興旺</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td>駱駝</td>
<td>周家巷 9</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>王二慶</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td>駱駝</td>
<td>周家巷 8</td>
<td>西北</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>民広恒</td>
<td>張大銀</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td>駱駝</td>
<td>民広恒 8</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>雇工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>----------</td>
<td>-----------</td>
</tr>
<tr>
<td>張文德</td>
<td>下戸</td>
<td>11</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 2</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>恵英</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 14</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>白富庚</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>白玉</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張文亮</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 2</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張四</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬二銀</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 8</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬四宝</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬三娃</td>
<td>下戸</td>
<td>12</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 3</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>喬義</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張珍</td>
<td>下戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>民庁恒 4</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬德明</td>
<td>中戸</td>
<td>21</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>民庁恒 5</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>後沙灘</td>
<td>履風岐</td>
<td>中戸</td>
<td>60</td>
<td>4</td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>王万義</td>
<td>上戸</td>
<td>112</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>梅盛子</td>
<td>中戸</td>
<td>31</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>遂田相</td>
<td>上戸</td>
<td>145</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>遂孝</td>
<td>中戸</td>
<td>43</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>故二随</td>
<td>下戸</td>
<td>13</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>陳福</td>
<td>中戸</td>
<td>21</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>王福</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>喬禎</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>庫掌才</td>
<td>下戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>故二随</td>
<td>下戸</td>
<td>13</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>陳紅</td>
<td>下戸</td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>益俊</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>楊六八</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張文乘</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬五明</td>
<td>下戸</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>付長年</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>張富貴</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>梅口溝</td>
<td>中戸</td>
<td>19</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>益玉旺</td>
<td>中戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>益忠義</td>
<td>中戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王德俊</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>地区</td>
<td>業者名</td>
<td>生活水準</td>
<td>駱駝数</td>
<td>雇工</td>
<td>住所</td>
<td>貿易地区</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>---------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>--------</td>
<td>-----------</td>
</tr>
<tr>
<td>庫順子</td>
<td>中戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 8</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王成</td>
<td>中戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王政</td>
<td>中戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>趙万口</td>
<td>中戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 12</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王存口</td>
<td>中戸</td>
<td>26</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 19</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>対国</td>
<td>中戸</td>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 19</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>米紅</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 8</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>趙六</td>
<td>中戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 10</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>王五明</td>
<td>中戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td>後沙灘 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>母狗営</td>
<td>鄧占元</td>
<td>中戸</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td>母狗営 24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>鄧三</td>
<td>下戸</td>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td>母狗営 24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬春恩</td>
<td>下戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td>母狗営 24</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>西順城街</td>
<td>喬華</td>
<td>下戸</td>
<td>9</td>
<td></td>
<td>西順城街</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>馬吉</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td>西順城街 20</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>張瑞</td>
<td>中戸</td>
<td>53</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>西順城街 11</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>南順城街</td>
<td>対万全</td>
<td>中戸</td>
<td>4</td>
<td></td>
<td>南順城街 16</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>福喜堂</td>
<td>上戸</td>
<td>110</td>
<td></td>
<td></td>
<td>南順城街 9</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>西得勝街</td>
<td>馬永禎</td>
<td>下戸</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td>西得勝街 5</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>富享元</td>
<td>上戸</td>
<td>90</td>
<td>6</td>
<td></td>
<td>西得勝街 33</td>
<td>武川</td>
</tr>
<tr>
<td>井児巷</td>
<td>馬有旺</td>
<td>中戸</td>
<td>31</td>
<td>2</td>
<td>井児巷 4</td>
<td>西北</td>
</tr>
<tr>
<td>観音廟</td>
<td>楊三</td>
<td>下戸</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td>観音廟</td>
<td>武川</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出典：『厚和市回民駱駝業者一覧表』（1944年）

注記：調査資料の印刷・保存状態が悪く、解読不能な箇所がある。該当箇所には口を挿入していた。

表8・表9をみると、回民の駱駝業者の居住地の内訳は、営坊道、通道街、新城道、後新城道、叡鉄街、水渠街、馬路、馬蓮灘、東寺街、西徳勝街、呂祖廟、南順城街、井児巷、西順城街、周家巷、民庁恒、後沙灘、母狗営（狗家灘）、観音廟であり、計19ヶ所となっている。このうち、大寺、北寺、東寺、西寺、東北寺などの清真寺に近い集住地域は、営坊道、通道街、新城道、後新城道、叡鉄街、水渠街、馬路、馬蓮灘、東寺街、南順城街、西順城街、周家巷、後沙灘、母狗営（狗家灘）であり（計14ヶ所）、回民の駱駝業者の多くが清真寺の周囲に居住していたことがよくわかる。特に、営坊道、新城道、叡鉄街、水路街、馬路、馬蓮灘、東寺街、後沙灘などの回民の集住地域にはそれぞれ200頭以上の駱駝が所有されており、駱駝業者の一覧表には、大寺、北寺、東寺、西寺、東北寺などの地元有力者（管理
責任者）の名前が散見される。
また、表8・表9の駱駝業者とは、正確にいえば、駱駝輸送業者を指し、徳厚堂や福喜堂などのようにごく一部の裕福な駱駝輸送業者を除けば、大多数の業者が小資本の個人経営で、厚和市と同じ蒙古の武川（現フフホト市武川県）へ物資を輸送しており、長距離ではなく、近距離輸送を特徴としていたことがうかがえる。小資本の個人経営の駱駝輸送業者のなかにも西北やモンゴル国などへ物資を輸送していた業者がいたが、推測の域を出ないが、その場合、複数の個人業者が共同出資し、輸送業務に携わっていた可能性が高い。もちろん小資本の個人業者が、徳厚堂や福喜堂などの大資本の業者に一時的に雇用された事例もあり、小資本の個人業者が大資本の業者と契約を交わして長距離輸送に従事したことも少なくなかったという（2014年10月フフホト市におけるインタビュー調査による）。

5 駱駝業者の儀礼

ここで、最後に、駱駝業者の儀礼に関する興味深い取材報告を紹介しておきたい。内モンゴル自治区のテレビ局（内蒙古衛視）がフフホト市（旧帰绥市）の駱駝業を取りあげたことがある。その番組の中で内モンゴル自治区イスラーム教協会の元会長（景鎭恩氏）が駱駝業者の儀礼について貴重な情報を提供している。以下、駱駝業者の儀礼の様子を景鎭恩氏の証言をもとに整理する。

事例 内蒙古自治区イスラーム教協会の元会長（景鎭恩氏）の証言

「ここでは、我々穆斯林駱駝隊走の時、他から家来へ会ったように小分駱駝隊をどこが開け、そこで行なう一風すなわち儀式や儀式で、この儀式は、まず、その主役（アザーン）が代表者（清真寺の宗教指導者）が唱える。その後、全員で一斉に両手を掲げ、隊員・積荷・駱駝の無事をアッラーに祈念する。そして、「アッサラーム・アライクム（あなた方へ平安あれ）」と言いながら、その場にいる人たちの平安を祈る。最後に、出発する前に、全員が両手で握りながら最後の挨拶を行うのであるが、楽しみのあまり、旅立つ者にも涙が出することがある。このような場面では、「アッラーの恩寵がありませよ」と言葉をただ投げかけるだけである。宗教指導者は「これは素晴らしい門出なのでから泣いてはならない。道中気
をつけるように。そろそろ出発しなさい」と言って見送った。

景鎬恩氏は詳細に述べてはいないが、このような儀礼は清真大寺の宗教指導者が中心となって執行していた可能性が高い。もちろん駱駝輸送業者のなかには他の清真寺に帰属意識をもつ者もいたであろうが、1949年以前、清真北寺以外の清真寺が清真大寺の管轄下にあり、大部分の回民が清真大寺の年中行事や葬送儀礼に参加していたこと、また、清真大寺が駱駝業者の「徳厚堂」の曹家によって管理運営されていたことをふまえると、清真大寺の関係者が駱駝輸送業者の儀礼を取り仕切っていたと考えても不自然なことではないだろう。

飲送儀礼のほかには、駱駝業者の慣習として、清真寺に対する寄付を挙げることができる。もちろんムスリムは日常生活のなかで自発的な施しを行うことが推奨されているが、ここでいう寄付とは同業者組合の活動を指す。厚和市にあった駱駝業者の同業者組合「清真社」を例に挙げると、同組合の慈善活動として、回民の組合員は駱駝1頭ごとに2元（当時の4円に相当）のサダカ（自発的喜捨）を清真寺に納め、このサダカの一部が回民の困窮者の救済に充当されていたという【今堀 1955：289】。ここでいう清真寺とは清真大寺を指すと考えて間違いはない。このほか、他地域の事例ではあるが、回民の駱駝業者が清真寺に寄付金を納める慣習については、北京回民の駱駝業者の事例でも紹介されている。例えば、北京の「駱駝房棄公会」の儀礼では、毎年3月、清真寺で宗教指導者が「平安経」を朗読し、駱駝の安全と繁殖を祈願・祈念し、同業者の葬礼には寄付金を募り、年収1,000元につき25元のザカー（法定喜捨）を清真寺に納めていたという【仁井田 1944：19】。

蒙疆にかぎらず、回民の駱駝業者の儀礼や慈善活動に関する報告は極めて断片的なものしかないと、その全体像を明らかにすることができないが、回民の駱駝業者が自分たちの所属する清真寺あるいはその地域の代表的な清真寺で特別な儀礼や喜捨を行っていたことは注目に値する。

IV おわりに

それでは、最後に、ここまでの要点を整理しておきたい。まず、蒙疆政権下の内モンゴルには、37,000人以上の回民が確認されており（モンゴル人がよりも多い）、その3分の1が厚和市（現ホホト市）、特に「北門外」と呼ばれる地域に集住していた。「城外」に位置する北門外にくる回民たちは、大寺、西寺、東寺、東寺、南寺、北寺などの清真寺の周辺に集住し、家畜販売業・仲買業・毛皮業・飲食業・屠畜業・酪農業・駱駝輸送業などの職業に従事してきた。回民の業界面相は大部分が小規模であったが、屠畜業・家畜販売業・輸送業などを質的に独占したことで、旧帰化市（正確には帰化城）の経済発展を促進した。例えば、1920年代以降、内外モンゴルや新疆の交易を掌握していた山東商人（漢民）の駱駝輸送業者が倒産すると、回民の駱駝輸送業者が台頭し、ムスリムの集住する西
北地方を中心とした交易を牽引するようになった。経営が軌道に乗った駱駝輸送業者は「清真寺」、という同業者組合を組織し、回民の駱駝輸送業者の利益確保に尽力した。このような回民の同業者組合は清真寺への寄付や宗教儀礼の実施にも積極的であり、駱駝業者にかぎらず、回民の地元有力者（例えば、大寺の曹家）は清真寺の社会経済的基盤を支えた。こうしたことは現在も地元回族のあいだで語り継がれており、かつての地元有力者の功績はおおむね高く評価されている。

本稿では、既存の文献資料や口述資料をもとにして、1945年以前の厚和市にくらす回民の社会経済的状況を具体的に記述するよう努めたが、日本軍の蒙辺支配と回民の経済活動との関わりについては、紙幅の関係上、正面から論じる余裕がなかった。日本軍特務機関が中心となって、包頭市や厚和市などの蒙辺の主要都市において少数民族の輸送業や羊毛・毛皮業などを統制しようとしたことは経済史研究ですでに指摘されており［田中2010；丁曉傑2011］、日本の回教工作に関する研究でも経済的側面は無視できない。今後の課題としては、日本軍が蒙辺で展開した回教工作の全体像および地域的特性を明らかにしながら、日本の植民地支配が現地社会の政治・経済・社会の各側面にもたらした変化、そして、現地住民の戦術や適応を緻密に検証したいと考えている。

注
1）例えば、陸軍省の「包頭駱駝運送（運搬材料）送付の件」（アジア歴史資料センター、Ref.C04120810300）、在厚和日本領事館の「厚和市回民駱駝業者一覧表」（アジア歴史資料センター、Ref.B08061964800）などは蒙辺の駱駝業に関する詳細な報告である。
2）ただし、清真寺の創立時期に関しては、日本人研究者や中国人研究者の文献資料によっておおきく食い違いため、今後、仔細に検討する必要がある。
3）本稿では、紙幅の関係上、引用を控えるが、『呼和浩特市回族史料第6集』（2004年）には「呼和浩特市駱駝業同業公会章程」（改正版）が掲載されている。

参照文献

日本語文献
今永 清二
1966 『中国回教史序説——その社会史的研究』弘文堂。
1967 「北京における駱駝業同業の実態——特に回教同業研究のための資料として」『史学論叢』第3号：62-86。
今堀 誠二
1955 『中国封建社会の機構——帰隷（呼和浩特）における社会集団の実態調査』日本学術振興会。
岩村 恒
1949 『中国回教社会の構造（上）』日本評論社。
1950 『中国回教社会の構造（下）』日本評論社。
内田 知行・柴田 善雅（編）
2007 『日本の蒙疆占領——1937－1945』研文出版。
梅棹 忠夫
1991 『回想のモンゴル』中央公論新社。
幾志 直方
1940 『西北羊毛貿易と回教徒の役割』東亜研究所。
小林 元
1940 『回回』博文館。
澤井 充生
2013 「日本の回教工作と民族調査——戦前・戦中期の内モンゴルを中心として」『人文学報』468：55-86。
2014 「日本の回教工作と清真寺の管理統制——蒙疆政権下の回民社会の事例から」『人文学報』483：69-107。
澤崎 堅造
1996 (1942) 『東亜政策と支那宗教問題』大空社。※初版は1942年に長崎書店から出版。
柴田 善雅
2007 「第2章 日本の蒙疆政治支配体制」『日本の蒙疆占領——1937－1945』内田知行・柴田善雅（編）、pp.41-68、研文出版。
善隣会（編）
1981 『善隣協会史——内モンゴルにおける文化活動』日本モンゴル協会。
竹内 好
1942 「北支・蒙疆の回教」『回教票』6（8・9）：36-57。
田中 剛
2010 「蒙疆政権」初期の渾毛統制政策と蒙疆羊毛同業会」『歴史研究』48：71-96。
仁井田 陞
1944 「北京の回教徒商工人とその仲間的結合」『回教票』第8巻第6号：241-266。
1951 『中国の社会とギルド』岩波書店。
蒙疆新聞社
1941 『蒙疆年鑑（昭和15年）』蒙疆新聞社。
蒙古自治邦政府回教委員会（編）
1942 『邦内回教調査概要』蒙古自治邦政府回教委員会。
蒙古善隣協会調査部
1942 『蒙疆回教徒実態调查資料』善隣協会。
駱駝会本部
1975 『想出の内蒙－—内蒙回顧録』講談社出版サービスセンター。
中国語文献

代 森

2001 「“徳厚堂”曹氏家史」『呼和浩特回族史料 第 4 辑』政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史料』編輯委員会（編）、pp. 213-251、内蒙古人民出版社。

丁 晩傑

2011 「抗戦時期日本的“振興西北貿易”対策——以包頭等地的皮毛交易為中心」 『中国経済史研究』 3: 142-150。

傳 世魁

2001 「日僞時期の厚和回民会館」『呼和浩特回族史料 第 4 辑』布衣（整理）、政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史料』編集委員会（編）、pp. 205-212、内蒙古人民出版社。

劉 映元

2003 「帰化城の駱駝交易」 『呼和浩特回族史料 第 5 集』政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史料』編輯委員会（編）、pp. 271-278、『呼和浩特回族史料 第 3 集』内蒙古人民出版社。

馬 達英

2011 「帰遙回族の歴史価値浅析」 『回族研究』 4: 123-131。

内蒙日報編輯部工作組

2007 「呼和浩特回民自治区調査報告」政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史料』編輯委員会（編）、pp. 9-33、『呼和浩特回族史料 第 7 集』内蒙古人民出版社。※1955 年の調査にもとづく報告。

佘 建明・袁 紹偉

2006 「歸遙回族商幫的內部結構」 『回族研究』 4: 98-103 。

総督省人民政府

2007 「総督省民委關於請明令分帰遙市回民区案致総督省人民政府的呈文」 『呼和浩特回族史料 第 4 辑』政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史料』編輯委員会（編）、pp. 279-280、内蒙古人民出版社。※原文は 1950 年に提出された文書。

楊 萬忠

2000 『十間房の変遷——回民街』出版社不明。

政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史料』編輯委員会（編）

1994 『呼和浩特回族史料』内蒙古人民出版社。

政治協商会議呼和浩特市回民区委員会・『呼和浩特回族史料』編輯委員会（編）

1989 『呼和浩特回族史料 第 1 集』出版社不明。

2001 『呼和浩特回族史料 第 4 集』内蒙古人民出版社。

2006 『呼和浩特回族史料 第 6 集』内蒙古人民出版社。

2007 『呼和浩特回族史料 第 7 集』内蒙古人民出版社。
データベース（アジア歴史資料センター）
在厚和日本領事館 1944 年 10 月 23 日 「厚和市回民駱駝業者一覧表」JACAR（アジア歴史資料センター）Ref. B08061964800、外国旅商関係雑件（B-E-2-11-0-4）（外務省外交史料館）。※西北事情研究所の調査報告。
蒙古軍軍事顧問部 1941 年 8 月 「西北回教族動静調査書」JACAR（アジア歴史資料センター）Ref. C13021521500、西北回教族動静調査書 昭和 16 年 8 月（防衛省防衛研究所）。
陸軍省 1938 年 11 月 9 日 「西北回教連合会会則の件」JACAR（アジア歴史資料センター）Ref. C04120632300、昭和 13 年 「陸支秘大日記 62 号」（防衛省防衛研究所）。
陸軍省 1939 年 3 月 10 日 「包頭駱運事情（運搬材料）送付の件」JACAR（アジア歴史資料センター）Ref. C04120810300、昭和 14 年 「陸支秘大日記 第 16 号 2/2」（防衛省防衛研究所）。

インターネット情報
2004 年 12 月 3 日 『青城記憶——駱駝（上）』（CNTV）
http://xiyou.cntv.cn/p-16641-d91cb4f4-5b81-11e1-b474-a4badb4689bc-desc.html
（最終閲覧日：2014 年 7 月 3 日）